

6.2 教育・研究指導のあり方

進捗状況報告

基本的な目標の追加・修正は行っていない。昨年度の進捗状況報告から1年経過しただけであり、2007年度末に執行部が交代したため、それほど大きな変化はない。

【6.2.1 カリキュラムにおける高・大接続】

導入教育のあり方について教育活性化委員会（2008年度は将来構想委員会）・執行部会・教務ミーティングで継続して検討している。

【6.2.2 履修指導】

例年どおり4月初旬に履修相談日を設け、とくに1年生の履修指導に重点を置いた。事務室の履修相談窓口としての認知はかなり浸透しているようである。オフィスアワーの充実化の試みも継続している。2007年度に引き続き、今年度も外国人留学生のなかで単位修得が進んでいない学生と個別面談し、GPAに基づく履修指導を行う予定である。

【6.2.4 研究指導等】

個別研究演習担当者の枠を超えた指導体制づくりを継続して検討している。教員と学生との共同プロジェクトについては、特筆すべき変化はない。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

履修指導や研究指導のあり方を含む、カリキュラムの見直しに向けた議論は、前執行部から引き継いで継続的に行っている。2008年度の秋にはカリキュラムの改正を教授会に諮りたいと考えている。

学内第三者評価

執行部の交代という事情は理解できるが、例えば2007年度の進捗状況にある研究プロジェクトの導入の検討結果など、旧執行部との引き継ぎによって1年間の活動を自己点検・評価し具体的に記述することが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
昨年引き続きGPAの低い学生に個別指導をしており評価できる。